

平成 19 年 9 月 20 日

宇宙実験「スペースバタフライ」への参加について

岡山大学資源生物科学研究所 准教授 杉本 学

【概要】岡山大学資源生物科学研究所の杉本 学（すぎもとまなぶ）准教授はロシア連邦国立科学センター生物医学研究所と、ロシア宇宙科学プログラム及び両研究所協力協定のもと、宇宙環境へ曝露する生物試料に関する科学的分析について共同研究を平成 18 年度から開始しています。この度、ロシア連邦国立科学センター生物医学研究所 Ryazanskii Sergei（リャザンスキー セルゲイ）博士が責任者となりロシア科学教育プログラムの下で実施される宇宙実験「スペースバタフライ」への参加について協力要請があり、杉本准教授が日本側コーディネーターとなり岡山市立東疇（ひがしうね）小学校が参加することになりました。

宇宙実験「スペースバタフライ」とは、本年 9 月 14 日カザフスタン共和国にあるバイコヌール宇宙基地から打ち上げ予定であるロシア無人宇宙船「フォトン-M3」を利用したものです。フォトン-M3 にチョウチョやカイコ等の昆虫を搭載して 12 日間地球軌道上を周回した後に回収し、子供たちが「宇宙を旅した昆虫」を飼育して宇宙環境が昆虫の成育や孵化に及ぼす影響を観察します。

宇宙実験「スペースバタフライ」はモスクワにある児童生態教育センターの昆虫クラブがロシア科学教育プログラム「スペースエクスペリメント」へ応募して採用された課題で、岡山市立東疇小学校では 5 年生がロシアから分与される「宇宙を旅したカイコ」の成長の様子や「宇宙を旅したユスリカ」の蘇生を観察する予定にしています。

本プログラムにはロシアと日本の小学生が参加予定です。ロシアや日本で観察した記録はインターネット上のホームページで発表し、両国の観察記録を比較することも計画しています。

宇宙は子供たちにとって非常に魅力的であり好奇心をかきたてるため、宇宙実験を利用した理科教育は子供たちの科学や生き物への関心を導くのに有効であると考えます。本プログラムへの参加により、子供たちが科学や生き物に対する強い興味をもつきっかけとなると同時に、国際交流を深めることが期待されます。

【今後の予定】「宇宙カイコ」の飼育は岡山市立東疇小学校では 10 月 3 日（水）から開始する予定です。（状況により変更もありえますので、詳細な日程等につきましては杉本にご確認ください。）

【参照】<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/cytomol/space-silkworm/index.htm>